

〒028-3311 岩手県二戸郡一戸町高善寺字大川鉢24-9
TEL. (0195) 33-2111 FAX. (0195) 33-4070
E-mail . gikai@town.ichinohe.iwate.jp



議会だよりクイズ

ごしょどん

をさがせ！

議会だよりの中にある「**ごしょどん**」はいくつかな？（イラストのほかに写真の中にもいるよ。）

正解者の中から抽選で**2人**に「**いちのへ商品券**」1,000円分をプレゼントします。

【応募方法】

ハガキに答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、右記まで応募

してください。また、議会だよりに対するご意見、ご感想などがありましたらあわせてご記入ください。

【応募先】

〒028-5311

一戸町高善寺字大川鉢 24-9

一戸町議会事務局 クイズ係

【締め切り】 5月31日（木）消印有効

【当選者発表】

次回号（7月下旬発行予定）で発表します。



ごしょどん

あとがき

▼第2回未来議会が開催され、中学生議員から一戸町の未来へ貴重な提言をいただくことができました。

▼御所野遺跡の世界遺産登録国内推薦まであと一歩です。町民の皆さま、そして「ごしょどん」も一緒に盛り上げていきましょう。

▼初めての取り組みとして町民と議員との懇談会を開催しました。一緒に地域を活性化させましょう。

▼議会だよりも町民参加型で皆さまから関心を持っていただけるようなものになるよう心がけてまいります。お気軽にご意見、ご要望をお聞かせください。

▼季節の変わり目です。皆様お身体をご自愛してお過ごしください。

広報広聴常任委員会
副委員長 山舘章子

議場の雰囲気を感じながら、一戸町の将来や町づくりの活性化など、今の町の現状を知ることができました。

このような経験をこれから
の学校生活、将来
にいかしていきたいで
す。

学んだことを共有したい



くどう ゆうせい
工藤雄成 議員
(一戸中)

初めてのいちのへ未来議会に参加して、議会の様子を感じることができた。

考えを深めるきっかけに



たなか こはる
田中心花 議員
(一戸中)

私は今回の議会に参加して、一戸町について考え直し、これからの町について考えることができました。自分の意見だけでなく、違う意見や考え方も知って、さらに自分の考えを深める良いきっかけになりました。未来議会に参加する事ができて良かったです。

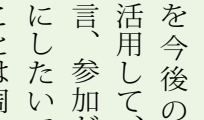
経験をいかしていきたい



たき さわ ゆう
滝澤優 議員
(一戸中)

いちのへ未来議会に参加してみても、議会の雰囲気や議員としての責任感を味わうことができませんでした。丁寧な受け答えをしていたとき、私たちの質問に対して一生懸命考えてくれたことに嬉しく思っています。今回経験したことを何かにいかしていきたいと思います。

自分たちも町に貢献したい



ほりうち ひろと
堀内紘翔 議員
(一戸中)

私は、この未来議会に出席してみても、一戸町ではどんな事が行われているのか、よくわかりました。町民が安全安心に暮らせるような取り組みや工夫がされていることには改めて感謝の気持ちがわいてきました。そして、自分たちも町に貢献したいと思いました。

将来にいかしていきたい



むらなか さきみ
村中咲心 議員
(一戸中)

私にとって貴重な経験ができた、良い機会になりました。実際に

自分たちも町に貢献したい

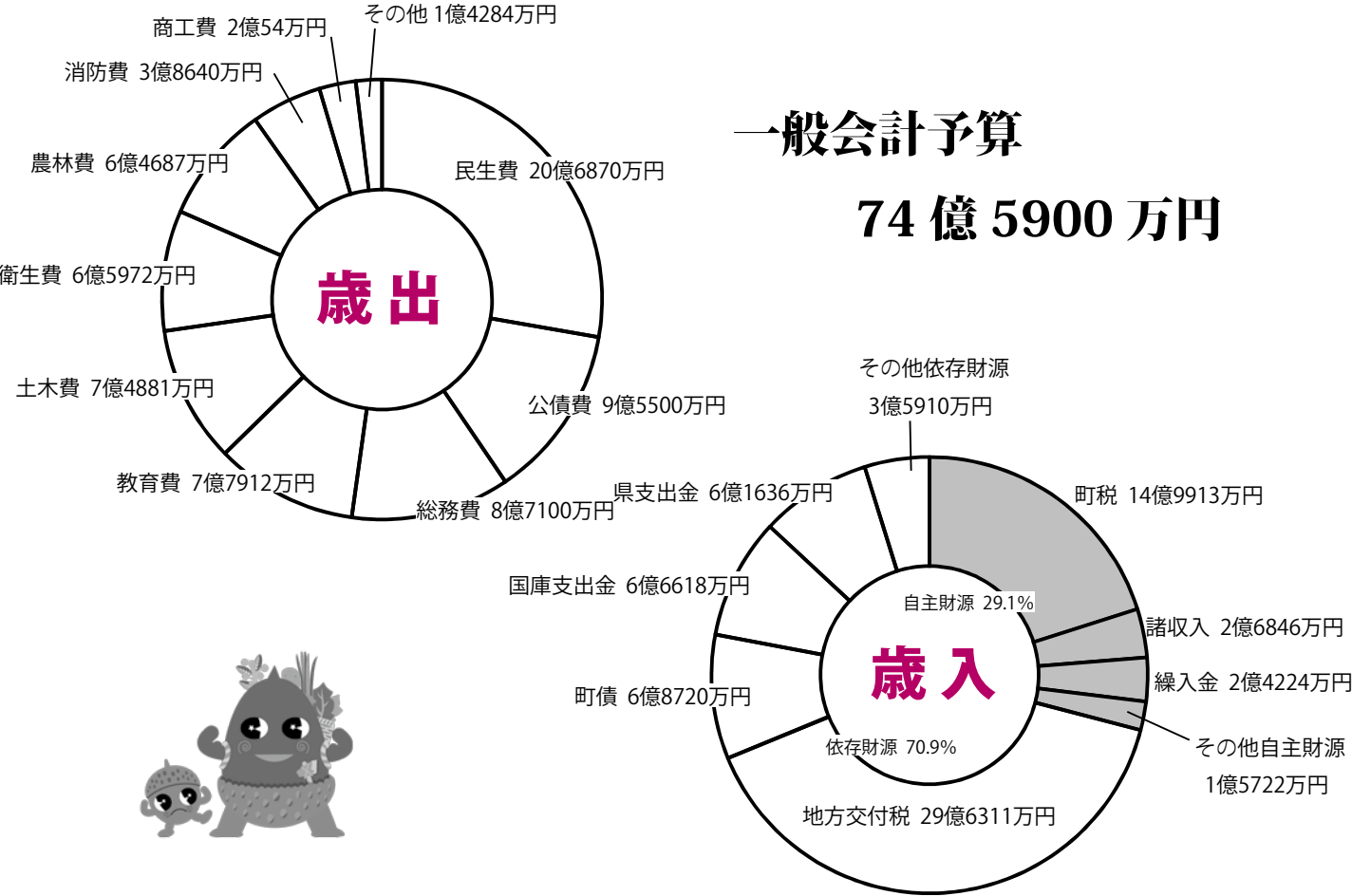


ほりうち ひろと
堀内紘翔 議員
(一戸中)

私は、この未来議会に出席してみても、一戸町ではどんな事が行われているのか、よくわかりました。町民が安全安心に暮らせるような取り組みや工夫がされていることには改めて感謝の気持ちがわいてきました。そして、自分たちも町に貢献したいと思いました。

平成 30 年度一般会計・特別会計予算

総額 95 億 9953 万円



用語解説

①歳入・歳出 歳入は収入、歳出は支出のこと

②町税 町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税

③地方交付税 全国どこでも一定水準以上の行政サービスを提供するため、国の税金（所得税、法人税、酒税など）の一部を地方自治体に配分し、自治体ごとの税収の差をならすもの

④国庫・県支出金 特定の事業の実施のために、その経費に使うことを条件として、国や県から交付されるお金。

⑤町債 町が資金調達のために行う長期借入金（借金）

⑥公債費 町債（借金）の返済に充てるお金

平成30年度 各特別会計予算		
国民健康保険事業勘定		1 5 億 6 1 3 3 万円
土 地 取 得		8 6 0 万円
農 業 集 落 排 水 事 業		8 1 6 3 万円
下 水 道 事 業		2 億 9 7 2 5 万円
個別生活排水処理事業		5 0 4 3 万円
後 期 高 齢 者 医 療		1 億 4 1 2 9 万円
合 計		2 1 億 4 0 5 3 万円

平成30年度 水道事業会計予算		
収益的収支	収 入	3 億 6 2 1 3 万円
	支 出	3 億 1 6 4 0 万円
資本的収支	収 入	1 億 1 1 4 8 万円
	支 出	2 億 7 2 5 0 万円



関屋地区に
子育て支援住宅建設へ

子育て支援住宅建設予定地（関屋地区） 既存建物を解体して建設します

3月定例会を2月22日から3月14日まで21日間の日程で開催しました。

最初に、町長より平成30年度施政方針演説、教育委員長より教育施政方針演説がありました。

平成30年度一般会計予算ほか各特別会計予算などの新年度予算議案8件は、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会に付託し、審査しました。審議の結果、諮問2件、議案29件、発議案1件、「委員会の閉会中の継続調査」2件、「議員派遣の件」1件をすべて原案のとおり同意・可決しました。

一般質問には5人の議員が登壇し、町政の諸課題について町の姿勢をただしました。

平成30年度一般会計予算の規模は、74億5900万円、前年度比3億7500万円（4・8％）減になっています。

歳入では、地方交付税が29億6311万円、前年度比3811万円（1・3％）増、町債が6億8720万円、前年度比2億2780万円（24・9％）減などとなっています。

歳出では、第二公設クリニック新築事業の終了などにより、衛生費が3億112万円（31・3％）減となっています。

平成30年度の予算の特徴としては、町が重点項目に掲げた「子育て支援と豊かな教育の充実」、「新たな人の流れの創出」実現のため、全小中学校へのWi-Fi整備事業、公営塾運営事業、子育て支援住宅新築事業、乳製品等地域産品普及・販路拡大事業が盛り込まれています。

また、特別会計は合計で5億1701万円（19・5％）減となりましたが、4月からの国民健康保険広域化に伴い、一部の事業を県が担うため、国保特別会計が4億8510万円（23・7％）減となりました。



平成30年度当初予算の重点施策

「地域の底力」発掘に注力

耕作放棄地を利用したタマネギ作り（根反地区）

平成30年度当初予算の主な施策・事業内容を町総合計画の基本計画に沿って紹介します。（カラーの字は新規事業です。）

自分や周りの人を大切にする町になるために

高齢者や障がい者、子育て支援、保健医療や社会保障など福祉の分野です。

障害者自立支援給付費

5億7000万円

介護保険対策費（二戸

広域負担金）

2億7865万円

後期高齢者医療事業費

（含特別会計繰出金）

2億3156万円

国保会計繰出金

1億5429万円

医療費給付費（重度・

乳幼児・妊産婦・ひとり

り親家庭・児童生徒）

7430万円

福祉及び保育分野人材

確保・育成事業

618万円

医学生奨学金貸付事業

246万円

いわて東北メディカル・

メガバンク事業協力業

務委託費

106万円

介護施設看護職員養成

事業

100万円

柔軟な知恵を出し合い、生活の土台を強くするために

農業、林業、商業、

工業、観光、雇用、消

費者対策など産業に関

する分野です。

農山漁村地域整備交付金

9322万円

鳥海地区ほ場整備事業

5141万円

多面的機能支払交付金

3222万円

いわて地域農業マスター

プラン実践支援事業費

補助金（畜産事業、園

芸等事業計）

2909万円

雇用就業実証事業

2770万円

アンテナショップ管理

運営委託費

2060万円

県営畑地帯総合整備事

業費負担金

1983万円

特産品加工商品化研究

事業

1800万円

草地畜産基盤整備事業

負担金

1456万円

いわてニューフア

マー支援事業

1430万円

一戸夢ファーム整備等

事業

1000万円

乳製品等地域産品普及

・販路拡大事業

562万円

新卒者ふるさと就職支

援事業

480万円

いわてカシオペアブラ

ンド発掘・発信事業

250万円

新規就農者確保対策事

業

210万円

森林病害虫等駆除事業

124万円



多面的機能支払交付金を利用した活動（摺糠地区）



公営塾は1月からプレオープンしています

先人に学び、誇れる資源
豊かな町になるために

生涯学習、学校教育、生涯スポーツ、世界遺産登録推進、青少年健全育成、国際交流など、主に教育に関する分野です。

小中学校費（含教育センター費）

2億1523万円

食育センター費

1億724万円

コミュニティセンター

施設管理費

6838万円

御所野縄文公園駐車場

整備事業

5471万円

総合運動公園管理費

4657万円

御所野縄文公園施設管

理費

4218万円

幼稚園費

3142万円

一戸町公営塾運営事業

2628万円

食育センター下水道接

続整備事業

791万円

世界遺産登録推進事業

費（総務費・教育費計）

711万円

放課後子ども教室推進

事業

526万円

民具等整理事業

199万円

自治公民館整備事業費

補助金

100万円

生活しやすい環境を整備し、安心して暮らせる社会にするために

道路・交通網、上下水道、住宅・宅地、環境・景観、環境衛生、消防防災、情報通信、交通安全・防犯などに関する分野です。

町道維持事業

1億36万円

橋梁改修事業

9800万円

町道整備事業

9678万円

子育て支援住宅新築事業

8465万円

地方バス運行費補助金

3199万円

消防屯所新築事業

2980万円

デマンド交通運行委託

費

2408万円

避難所等Wi-Fi整備事業

1814万円

県営街路事業

1622万円

生ごみ発酵処理事業

954万円

空家対策計画策定委託

料

898万円



生ごみ収集作業の様子



地域の足として定着してきたデマンド交通

全国瞬時警報システム
機器等購入費

450万円

公営住宅長寿命化計画

改訂委託料

357万円

取り組むべきことを、みんな考えてみんな
で解決するために

町民主役のまちづく
りや広報広聴その他に
関することです。

公債費

9億5486万円

耕作放棄地活用地域

活動支援事業費補助金

188万円

地域づくり推進事業費

924万円

188万円

世界文化遺産登録に向け御所野

縄文公園周辺整備に本格着手



3月の南昌荘での物産展で地元産品の販売を体験

農林費
多面的機能支払交付金
組織への働きかけは
山下 多面的機能支
払交付金について、導
入当初よりも利用する
組織が増えてきている
が、さらに利用組織を
増やすために町で働き
かけを行っているか伺
います。

一体となって動かなければうまくいきませんので、地域で話がまとまった場合に、利用できる補助制度の一つとして提案していきたいと考えています。
商工費
一戸高校生と一緒に
取り組んでみては
柴田 乳製品等地域
産品普及・販路拡大事



公営塾は小学3年生～6年生が対象です

町税
滞納
消納
対策
越分
上平 町税などの滞
納を解消するため、ど
のような対策を講じて
いますか。

納税相談に応じた方については、個々の事情に応じて分納計画を立てますが、応じない方については、差し押さえなどを検討します。
総務費
の公
営塾
受は講
の対
象者
は講
菅野 町の公営塾を
受講する対象者を伺い
ます。

土木費
県道上野西法寺線
排水処理は
田村 県営街路事業
(上野西法寺線)につ
いて、現在豪雨などの
際、中道からの排水を
処理しきれず向町地区
であふれているが、排
水をどのように処理す
る予定か伺います。

教育費
奨学金返還免除
職種の追加は
小野寺 町育英会奨
学金制度の返還義務を
免除する職業として、
看護師、保育士、幼稚
園教諭が指定されてい
ますが、職種の追加は
考えていますか。

教育費
学校トイレ洋式化
今後、増やす予定は
仁昌寺 昨年度、町
内の小中学校に各階男
女1基ずつ洋式トイレ
が整備されましたが、
今後、増やす予定はあ
りますか。



上野西法寺線（第3期）整備予定地

民生費
来田保養センター
利用状況は
田中 来田保養セン
ターの利用状況を伺い
ます。

となっており、年々減
少しています。
衛生費
子宮頸がん予防接種
対象者が少ないのは
山館 予防接種委託
費のうち、子宮頸がん
の対象者が2名となっ
ていますが、理由を伺
います。

衛生費
資源ごみ回収事業
補助金の実績は
駒木 町では資源ご
みの回収事業に補助金
を支給していますが、
その実績を伺います。



御所野縄文公園駐車場整備予定地

町の次世代に向けた施策の確立を

平成30年度予算に対する意見・要望

予算審査特別委員会



峠 勇男
予算審査特別委員長

■地域との連携を

日常から町民の生命財産と安全と健康を守るために、町内会や地域消防団・自主防災組織などと、密な連携を深めておく取り組みに努めることを求めるものである。

■機会均等に留意を

タブレット端末を利用した公営塾の試行に取り掛かったところであるが、受入定員の取り扱いを可能な限り柔軟に行うことで、希望する者の受け入れなどの機会均等に留意しながら進められたい。

■高齢者福祉の充実を

高齢者福祉の充実を図る方策のひとつとして、町内各地にある温泉を利用するとともに

「夏山冬里」のような集合住宅を設置し、季節限定の共同生活を促すように、現在行っている冬季高齢者生活支援事業を拡充することについて提唱するものである。

■可燃ごみ減量への更なる取り組みを

現行の生ごみ消滅型の処理を継続することは当然ながら、紙・衣類などを資源ごみとして回収することで可燃ごみ減量に効果的な、資源ごみ回収事業について重ねて普及啓発を図られたい。

■耕作放棄地未然防止を

優良農地の保全と管理を行っていくことは非常に困難な状況ではあるが、多面的機能支

払交付金による支援事業を有効に活用し、耕作放棄をいくらかでも未然に防ぐためにも、取り組み可能な団体の掘り起こしなど普及啓発に努められたい。

■維持管理計画策定を

道路橋梁等の維持管理について、早急に維持管理計画を策定し、緊急性や必要性などの優先順位を定めながら、維持管理に取り組みすることを求めるものである。

■子育て支援住宅の更なる充実を

新規に子育て支援住宅の建築を行うことに加えて、空き家対策計画策定にあわせて、民間の住宅をリフォームして活用することや、家賃の助成を行うことなども検討することを提案する。

■定着できる施策確立を

町の次代を担っていく

れる子育て世代の方々、子育て後も一戸に定着できる施策の確立を図ることを望むところである。

■町の特産品を

農畜産物の付加価値を高めるための加工処理の研究に加えて、従来からある伝統工芸品の技術継承のためにも若い方々に興味と関心をもっていただく取り組みにあわせて、工芸品加工を一つの産業として確立することを検討されたい。

■各特別会計予算ならびに水道事業会計予算
その設置目的に沿った予算編成がなされているが、独立採算の原則から、一般会計繰入金のさらなる削減に努められたい。

■予算審査における個別の意見・要望

予算審査の過程における意見・要望については十分留意し、予算の執行にあたり、その趣旨に沿うよう配慮をされたい。



公約実現に向けた 予算編成を

菅野敦子議員

■国民健康保険特別会計

最も重税感が大きいのが保険税です。日頃健康に留意し、医療費がかからないようにすることはもちろんですが、万が一病気になっても安心して医療が受

■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、75歳以上という弱い立場の高齢者への医療差別というものであり、制度自体に反対です。

けられるよう、国への助成を求めると同時に、町としても町民に対する保険税の軽減を求めます。

「新生いちのへ」を創る 施策に期待

上平 栄一郎 議員



次世代を担う子ども達の教育の質を高める取り組みや、新たな人の流れを創り出す取り組み、御所野遺跡をはじめとした魅力ある観光振興を目指した「新生いちのへ」を創るための予算編成であり評価します。

■教育環境の充実

タブレットを使用した塾形式の学習支援事業が本格的に動き出し

ます。また、町内全小中学校にWi-Fiを整備することでICT教育の実施に向けた環境が整うこととなり、今後の展開に期待します。

■地域の力を引き出す施策

耕作放棄地を再生させる地域活動への支援事業が予算化されました。この活動を通して自分達の地域は自分達でつくるという自治意識の涵養が期待でき、他の地域への波及効果も望めるものです。



御所野縄文公園駐車場が拡張されます

■御所野縄文公園周辺整備

御所野縄文公園駐車場場拡張事業が予算化されており、遺跡を訪れる方々の受け入れ態勢の整備が進むことに期待します。

また、更なる「おもてなし」体制を整えるため、遺跡周辺の環境整備も含め、町内各地への周遊ルートも想定した観光開発を進めるよう要望します。



早期発見早期治療で医療費を抑制

就任最初の予算編成です。公約実現への意気込みを少しでも感じ取れる予算であってほしかったです。

改めて選挙での公約実現のために頑張っていたきたいと思います。

30年度一般会計、国民健康保険事業勘定特別会計、後期高齢者医療特別会計の3予算に反対します。

■一般会計
今回の予算編成は、まさに選挙での公約実現への大きな一歩となり、町民の期待も大きいところです。

しかし残念ながら、産業振興と雇用の創出や健康長寿のまちづくりにおいては、これまでより力強さが感じられません。

移住体験住宅を整備

～ 一般議案審議 ～

諮問2件、一般議案12件、人事議案3件、補正予算6件は、審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

◆**一戸町移住体験住宅条例の制定**
一戸町移住体験住宅の設置及び管理に關し必要な事項を定めたものです。

◆**農村地域工業等導入促進法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定**
農村地域工業等導入促進法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定。



奥中山地区に整備された移住体験住宅

◆**職員の育児休業等に関する条例の一部改正**
地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、非常勤職員の育児休業について特に必要と認められる法律の施行に伴い、一戸町農村地域工業導入促進対策審議会条例の題名を改めるとともに、関係条例の整備をしたものです。

る場合には、子が2歳に達する日まで育児休業ができるように定めるなど、その他所要の整備をしたものです。

◆**一般職の給与に関する条例の一部改正**
人事院勧告の例に準じて、一般職の職員の勤勉手当の支給割合および給料月額の改定をしたものです。

◆**特別職の給与に関する条例等の一部改正**
一般職の給与と改定の例に準じて、特別職、教育長および議会議員の期末手当の支給割合を改定したものです。

◆**一戸町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正**
就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に關

する法律の一部改正に伴い、所要の整備をしたものです。

◆**一戸町国民健康保険条例の一部改正**
持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、一戸町国民健康保険運営協議会の定義を定めるとともに、所要の整備をしたものです。

◆**一戸町後期高齢者医療に関する条例の一部改正**
持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律等の施行に伴い、住所地特例の見直し、その他所要の整備をしたものです。

◆**萬代館条例の一部改正**
萬代館の展示場を定

めるとともに、その他所要の整備をしたものです。

◆**一戸町都市公園条例の一部改正**
都市緑地法等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の整備をしたものです。

◆**辺地に係る総合整備計画の策定への議決（宇別）**
草地造成、育成牛舎等整備に伴い、総合整備計画を策定したものです。



補正予算

一般会計（第6号）	2480万円増
地域ICTネットワーク機器等更新工事費	8054万円
県営島海地区農地整備事業費負担金	2019万円
農山漁村地域整備交付金	▲4102万円
第二公設クリニック新築工事費	▲2700万円
農業集落排水処理事業（第1号）	47千円増
下水道事業（第1号）	1290万円減
個別生活排水処理事業（第2号）	42千円増
後期高齢者医療（第1号）	281万円増
水道事業（第1号）	営業収益800万円減

副町長の選任に同意



うすい ひろし 氏
白井 宏 氏

副町長に、前岩手県文化スポーツ部文化スポーツ企画室主任主査の白井宏氏を選任することに同意しました。

人権擁護委員推薦に同意

人権擁護委員に、吉田幸男氏と東山奉子氏の2人を推薦することに同意しました。
任期は、平成30年7月1日から平成33年6月30日までの3年間で



よしだ さちお 氏
吉田 幸男 氏
(楢山字滝野)

教育委員の任命に同意



たけだ やすこ 氏
武田 靖子 氏
(一戸字向町)

教育委員会委員に、武田靖子氏を任命（新任）することに同意しました。
任期は、平成30年4月1日から平成34年3月31日までの4年間で

教育長の任命に同意



なかしま あつし 氏
中嶋 敦 氏
(高善寺字野田)

教育委員会教育長に、中嶋敦氏を任命（新任）することに同意しました。
任期は、平成30年4月1日から平成33年3月31日までの3年間で

議会傍聴・議会中継をご利用ください

6月定例会は6月上旬開会予定です。会期が決定後、一戸町のホームページなどでお知らせいたします。
議会傍聴と町ホームページでの議会中継のライブとオンデマンドをぜひご利用ください。
<http://www.town.ichinohe.iwate.jp/> **議会中継をクリック！**

一戸町議会

一戸町議会のページ

議会中継

町ホームページのトップページ右下

番号		件名	山館子	田中新吉	仁昌泰夫	小野寺登	田頭健造	柴田正三	峠勇男	上平栄一郎	山下正勝	駒木二郎	菅野敦子	田村繁幸	中瀬春英	上山文雄	関連ページ	
諮問	第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	賛成多数 吉田幸男氏を可と認めることに決定												－	11		
	第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	賛成多数 東山奉子氏を可と認めることに決定												－	11		
議案	第1号	教育委員会教育長の任命に同意を求めることについて	投票による採決 賛成全員により同意												－	11		
	第2号	教育委員会委員の任命に同意を求めることについて	投票による採決 賛成多数により同意												－	11		
	第3号	辺地に係る総合整備計画の策定に関し議決を求めることについて（宇別）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10
	第4号	辺地に係る総合整備計画の変更に關し議決を求めることについて（平糠）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	－	10
	第5号	一戸町移住体験住宅条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10
	第6号	農村地域工業等導入促進法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10
	第7号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10
	第8号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10
	第9号	特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○	○	○	○	－	10
	第10号	一戸町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10
	第11号	一戸町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10
	第12号	一戸町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10
	第13号	萬代館条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10
	第14号	一戸町都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	10
	第15号	平成29年度一戸町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	11
	第16号	平成29年度一戸町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	11
	第17号	平成29年度一戸町下水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	11
	第18号	平成29年度一戸町個別生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	11
	第19号	平成29年度一戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	11
	第20号	平成29年度一戸町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	11
	第21号	平成30年度一戸町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	－	2～9
	第22号	平成30年度一戸町国民健康保険事業勘定特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	－	2～9
	第23号	平成30年度一戸町土地取得特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	2～9
	第24号	平成30年度一戸町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	2～9
	第25号	平成30年度一戸町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	2～9
	第26号	平成30年度一戸町個別生活排水処理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	2～9
	第27号	平成30年度一戸町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	－	2～9
	第28号	平成30年度一戸町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	2～9
	第29号	副町長の選任に同意を求めることについて	投票による採決 賛成多数により同意												－	11		
請願	第1号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	18	
発議案	第1号	ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	18	

表の見方：「○」は賛成、「●」は反対、「—」は採決に加わらなかったことを表します。
上山議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

一般質問

一般質問は、行財政全般にわたり疑問点をただし、町の所信を求めるもので、定例会で行ないます。

質問は、議員と町長が対面し、一つの質問をして一つの回答を得る「一問一答方式」です。

1人50分の制限時間内で質疑を繰り返します。

通告者

峠 勇 男 議員
山 館 章 子 議員
小野寺 美 登 議員
柴 田 正 三 議員
駒 木 二 郎 議員



峠 勇 男 議員

農業振興

具体的な方策は
地域の方々と共に考える

質問 高原野菜と農畜産物の生産が盛んな奥中山地区以外の地域での農業振興に対する方策などを、具体的に検討しているか伺います。

町長 町では、担い手を育成・確保することが重要な課題のひとつと考えており、(株)一戸夢ファームによる担い手の育成や農業次世代人材投資資金の活用により、特に新規就農を目指す方に対して、積極的に支援を行っています。
また、将来にわたり地域の農業をどうしていきたいか、どのような

不安を抱えているかなど、地域ごとの農業に関する課題や生産者の声を広く伺い、今後の施策にいかすために、2月に町内4地区において「農業振興に係る集落座談会」を開催しました。出された意見や要望については現在とりまとめているますが、どの地域においても、担い手や後継者の不足による将来への不安を抱えている。いただいた意見などについては、関係部署と情報共有するとともに、早期に解決すべき課題については速やかに対応していきま

また、地域農業の振興は、それぞれの地域住民が問題意識を持ち自ら考えることが基本だと考えています。町としてはその機運を醸

成するとともに、具体的にどのような支援ができるかを地域の方々と共に考えていきます。



一戸夢ファームなどで新規就農を積極的に支援

このほかに「中心商店街の環境整備について」も質問しました。



山 舘 章 子 議 員

産 業 振 興

ごしよどんの利活用は

活躍の場を増やしていきたい

質問 御所野遺跡の世界遺産登録に向けて、また、町の産業振興に向けて、誰からも愛されるキャラクター「ごしよどん」の利活用に係る次のことについて町長の考えを伺います。

- ② 様々な商品パッケージに「ごしよどん」を積極的に使用する。
- ③ 町の案内看板に「ごしよどん」を載せる。
- ④ ごしよどんの家族や仲間を作る。

町長 ごしよどんの活躍の場を増やしていきます。



ごしよどんの活躍の場を増やします

- ① 物販施設等の整備が今後計画されますが、他の観光地と同様に、キャラクターグッズを含む品揃えは必要と考えています。
- ② 町特産品のパッケージへの積極的な使用については、今後も更なる周知を図り、これまでに使用していただけのような取り組みです。
- ③ 案内看板へのごしよどんの利用も可能な範囲で増やしていきます。
- ④ ごしよどんの認知度を更に高めることを第一に取り組み、今後、ごしよどんが生まれた発想を損ねない限り検討します。

学 校 教 育

配慮が必要な子への対応は

良い方向へ導けるよう努める

質問 配慮が必要な子ども達の支援センターを作る計画があると伺っています。町の特別支援学級の教育は以前よりも手厚くなっているように感じますが、通常学級に混在する配慮が必要な子ども達に対しては、必要な手立てが不足しています。町では配慮が必要な子ども達の実態をどのように把握しているか伺います。

町長 「児童発達支援センター」は、有用性は認識しているものの現時点で設置についての具体的計画はありません。町としては、発達に心配のある児童に限らず、妊娠期から出産、育児期の多様な支援のニーズにワンストップで対応し、切れ目のない支援を行う体制づくりを進めたいと考えています。



教育長 児童生徒の実態把握については、各種会議、学校訪問、授業参観などで行っています。必要に応じて関係者間でケース会議を行い、スクールカウンセラーを活用した教育相談や教職員の研修も実施しながら成長過程にある子どもの心を受け止め、良い方向に導くことができるよう努めています。今後更に、子どもの特性に応じた効果的な指導・支援のあり方について学ぶ機会を充実させ、保護者・学校・教育委員会の間を繋ぐシステムづくりについても模索していきたいと考えます。

今後の活用法は

様々な活用法を検討中

町 有 財 産



小 野 寺 美 登 議 員

質問 旧堀口邸、旧一戸病院跡地、旧蚕業試験場跡地など町が購入していますが、今後の活用法を伺います。



旧堀口邸の改修工事は終了しました

町長 旧堀口邸については、建物を観光や地域住民の活動拠点として活用するため、国の地方創生関係交付金を活用して改修工事と備品の整備を行っており、今後は、地域おこし協力隊の活用も含

めたソフト面の検討を進め、具体的な利活用を図っていきます。旧一戸病院跡地については、隣接する旧一戸高等看護学院跡地の取得も視野に入れ、中心市街地という立地条件と広い面積をいかした活用法を模索します。ほかの町有地についても、引き続き活用法を探っていききたいと考えています。

地 域 医 療

公設クリニック開院は

一戸病院の維持・充実が第一

質問 県立一戸病院の現状は診療科目も少なく、特に通院しなればならない人工透析の患者さんは二戸まで行って治療を受けています。町民が安心安全に暮らしていくために病院の存続と診療科目の増設を、県に対して今まで以上に交渉してもらいたいと思います。また、今後も公設クリニックを開院する計画があるか、伺います。

内科5名、精神科5名、外科1名、耳鼻咽喉科1名の計12名となっております。今後も県に対して休診科の再開や常勤医の増員を粘り強く要望していきます。また、公設クリニックの計画については、一戸

病院の機能の維持充実を求め様々な形で支援することが第一と考えますが、これが叶わない場合の次善の策として、公設クリニックも選択肢の一つとして検討します。



今後も常勤医増員を要望していきます

町長 現在の一戸病院の外来診療科の状況は内科、精神科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、皮膚科の7診療科となっており、常勤医師は

このほかに「空き家対策について」も質問しました。



柴田正三 議員

一戸高校

学級減の対応は

現在の状況を周知し支援を継続

質問 県の再編計画で一戸高校の学級減の計画が提示されています。二戸管内への就職率が高い介護福祉系列の存続も強く要望する必要があると考えますが、魅力ある学校づくりに向けた町の考えを伺います。

教育長 県教育委員会は、平成28年3月に「新たな県立高等学校再編計画」を策定し、一戸高校は平成32年度に系列などの見直しを図り、3学級から1学級減の2学級とする計画が示されています。平成29年1月から県教委と一戸高校は「一



一戸高校の魅力アップのため支援を継続

戸高校のあり方に関する意見交換会」を開催し、中学3年生と保護者を対象にアンケート調査を行うとともに、町の関係者も出席し総合学科のあり方に向けた意見・要望を述べている所です。

町では、生徒のアメリカへの海外派遣や、なぎなた選手への大会派遣、華一同好会への補助など支援を行ってききました。また30年度から町の育英会において一戸高校の生徒に対して貸与額のかさ上げを実施することになっています。これらの取り組みで一戸高校の魅力アップに繋がっていきたいと考えています。

歯止めをかけるには 町内企業への就職率を上げる

人口流出

質問 若年層の人口流出に歯止めをかける対策について、次のことを伺います。

①新たな雇用創出の必要性について

②移住希望者に対する新たな支援策について

町長 ①これまで就職希望の一戸高校生徒に対し、町内や二戸管内の企業訪問を実施していますが、管内企業への就職率が高いものの、町内企業への就職は低調に推移しています。町内企業に対する認知度不足も要因の一つと考えられるので既

存企業へ目を向けさせるような取り組みや、若年層が希望する業種の立地についても検討します。

②整備された移住体験住宅により、これまで課題となっていた短期農業研修における宿泊施設を用意することができました。加えて地域おこし協力隊制度を活用し、移住定住コーディネーターを任用することで短期農業研修者を移住に繋げ、また移住定住の相談に対応できる体制を整備し、全国への発信強化を進めます。



町内企業に就職した一戸高校卒業生
(株)結愛サービス公社

広域化の背景は

財政の安定化を図る

国民健康保険



駒木二郎 議員



被保険者証は有効期限までそのまま使えます

質問 国民健康保険の運営主体が道府県に移行し、広域化となります。その背景などを伺います。

町長 すべての国民が安心して医療が受けられる国民皆保険を堅持していくためには、最後の砦である国民健康保険の安定化が不可欠となります。

今回の見直しは国民健康保険の財政基盤の強化のために、国の財政支援の増額や、これまでの市町村単位から

都道府県単位にして県に財政運営の責任を持たせ、各市町村の医療費の変動などに対応させることで、財政の安定化を図るというものです。

都道府県の主な役割は、県内の統一した運営方針として国民健康保険運営方針を定めるとともに、県全体の国保の財政運営を行うことです。

町の主な役割は、これまでと同様に被保険者と直接かわる事務となります。

鳥獣被害対策

農作物被害への対策は

担い手確保にも取り組む

質問 野生鳥獣の人家周辺への出没の増加や、農作物への被害が深刻になっている地域も出てきています。野生鳥獣による農作物への被害対策について伺います。

鳥獣被害対策実施隊と猟友会による駆除捕獲のほか、電気柵設置に対する補助、ハクビシン対策用の箱わなの貸し出し、狩猟免許な

どの取得にかかる費用の補助制度の周知に努めるとともに、担い手の確保にも取り組んでいきたいと考えています。



ハクビシン対策用の箱わなの貸し出しも行っています

町長 有害鳥獣の駆除捕獲については、ツキノワグマ、ニホンジカは、町鳥獣被害対策実施隊で捕獲用のわなの設置とパトロールを実施しています。また、猟友会には、ツキノワグマ、ニホンジカを除く有害鳥獣の駆除捕獲業務を委託し実施しています。

今後の被害防止については、引き続き、町

町民と議員との懇談会を開催

～ 町内4地区で、初めて開催 ～

■奥中山地区

- ・牛肉やレタスなど、奥中山高原ブランド力の向上に繋がるような取り組みを期待する。
- ・学校給食で使用されている地元食材（生産者）を児童生徒へお知らせしてはどうか。郷土愛の育成や生産者の意欲向上にも繋がる。
- ・少子化の原因は結婚しない人が多いことにある。婚活に力を入れてはどうか。

2月26日、27日、3月1日、2日に「町民と議員との懇談会」を初めて開催しました。

各地区に、議員7名が伺い、議会体制に関する情報提供を行った後、地区の方々の意見・要望をお聴きしました。懇談会で出された主な意見は次のとおりです。

■小島谷地区

- ・小島谷地区は広い農地はないし何を作付けすればいいか。
- ・独身男性が多い。葛巻町では結婚した夫婦に助成金を出している。
- ・小島谷公民館職員に振興会等で世話になっている。職員数を維持してほしい。

■一戸地区

- ・以前、踏切拡張（関屋地区）の請願を提出し採択してもらったが、その後の進展がない。
- ・公設クリニックもないことだが、県立病院の医師確保はどうするのか。
- ・御所野遺跡周辺の整備が集客につながるようお願したい。
- ・地域リーダーの人材育成も含め、地域の活性化をどう考えるか。
- ・町の活性化のために外貨を稼ぐ施策は。

■鳥海地区

- ・鳥海地区公民館の新築または改築をお願いしたい。
- ・新たに創設される森林環境税の財源を高森高原の観光に使用できるか。
- ・山林伐採後の再造林が進まない。森林組合での苗木補助を町で拡大できないか。
- ・県道の維持管理について、早急に補修してほしい。



町民と議員との懇談会の様子（鳥海地区・翔遊館）



議長交際費

議長などが議会を代表し対外的な行事などへ出席する際の経費です。1月～3月の執行状況をお知らせします。

◎ 平成30年1月～3月執行状況

区分	1月	2月	3月
祝金	3件 15,000円	7件 34,000円	3件 15,000円
会費	4件 12,500円	2件 20,000円	1件 5,000円
見舞金	—	—	—
弔慰金	1件 5,000円	—	—
接遇	17件 69,700円	—	—

※ 交際費の主な分類

祝金	慶事、式典、祝賀会、各種懇親会等の祝金など
会費	慶事、各種懇談会等の会費
見舞金	病気、入院等の見舞金
弔慰金	香典など
接遇	視察来訪等の贈い、視察先へのお土産など

請願審査

今期定例会には請願1件が提出され、委員会審査の後、本会議で採択されました。

また、議員発議された意見書1件は可決され、関係機関に提出されました。

請願

◎ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める請願（総務教育民生常任委員会）

▼審査内容

ライドシェアは、いわゆる白タク行為を合法化するものです。導入されれば、利用客の安全・安心が担保されない事態が常態化するおそれがあり、国内タクシー事業ばかりでなく、路面バスや貨物、鉄道も含めた地域公共交通の存在が危機に陥り、ひいては地域経済にも深刻な影響を与えかねないと判断し、本請願を採択としました。

意見書

○ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める意見書

▼要望内容

1 国民の安全・安心に極めて大きな懸念のあるライドシェアを導入しないこと。
2 地域の公共交通の役割を担っているタクシー事業者が、より安全・安心で快適・便利 な交通機関として利用客にサービスを提供できるよう、タクシー事業の適正化・活性化のための諸施策を推進すること。

※ライドシェア
乗用車の相乗りの需要をマッチングさせるソーシャルサービスの総称。

どうなった？あの請願

昨年提出された請願が、その後どう処理されたのかを検証します

◎子守歩道橋の塗装塗替えに関する請願

国道4号にある子守歩道橋は開通以来、塗替えされていなかったのに、塗装の塗替えをお願いしたい。
(29年9月20日採択)



神社への歩道橋であることから、現在庁内で施工方法などを検討中であり、方針を決定した後に国土交通省と協議を行いたいと考えています。



子守橋を調査する議員

◎一戸町奥中山ひまわり団地町道の舗装整備に関する請願

団地内町道の未舗装箇所の舗装をお願いしたい。
(29年9月20日採択)



まずは、既存の排水施設について検討することが必要であると考え、30年度において取水箇所を柵を設け、その後の状況を確認しながら舗装整備について検討したいと考えています。

合川拓真議員 第2項目

世界遺産登録への取り組みは

周辺地域の盛り上がりも重要

質問 今後の取り組みについての方向性や、新しい取り組みなどを伺います。

教育長 登録されるためには遺産の価値をきちんと説明しなければなりません。その内容を分かりやすくするために見直しが進められています。

また、周辺地域の盛り上げも重要であることから、周辺市町村の協力をいただき「カシオペア連邦世界文化遺産登録推進宣言」を行い、登録を目指す取り組みを発信することができました。

今後は世界文化遺産登録後を見据えた準備を進めていくことが重要になってきます。皆さんのような若い世代

質問 今後の世界文化遺産登録後を見据えた準備を進めていくことが重要になってきます。皆さんのような若い世代

世界遺産登録推進室長 SNSを活用した情報発信については、既

質問 御所野縄文遺跡の宣伝とSNSの活用についての考えを伺います。

片野颯太議員 (一戸中)

Instagramの活用も準備

Instagram、フェイスブックで行っています。今後は、Instagramの活用についても準備しており、そのための予算を新年度予算に計上しています。

なぜ御所野遺跡が世界遺産になるのか、なぜ縄文が今、見直されるかということも広く発信していきたいと考えています。

SNSを活用した宣伝は

人と人とのつながりを支援するインターネット上のサービスのこと。



世界遺産登録再質問

御所野に関わるイベントは

各地区に出向き出前講座も

質問 御所野に関わるイベントの開催予定を伺います。

世界遺産登録推進室長 間近なイベントについては、2月25日に毎年行っている調査成果発表会に合わせて、御所野縄文博物館の開館15周年記念事業を行うこととしています。

また、今まで行っていた出前講座も継続して行います。これまでは、世界遺産についてのお話をしていたのですが、御所野遺跡が世界遺産に登録さ

生活に密着させるよう取り組み

質問 御所野遺跡世界文化遺産登録イメージキャラクターである「ごしよどん」が、あまり活用されていないように感じます。今後の活用方法を伺います。

まちづくり課長 平成26年度から活動している「ごしよどん」ですが、今年度は18件のイベントに出演しました。また、イラストは商品パッケージやポスターなどに無料で使っていたいただいています。

今後は、さらに生活に密着させるような取り組みを続けていきたいと思っています。

まちづくり課長 平成26年度から活動している「ごしよどん」ですが、今年度は18件のイベントに出演しました。また、イラストは商品パッケージやポスターなどに無料で使っていたいただいています。

今後は、さらに生活に密着させるような取り組みを続けていきたいと思っています。



中学生が一戸町の未来へ提言

第2回いちのへ未来議会開催

質問 景観条例もあるようですが、今後のまちづくりと縄文との関わりについての考えを伺います。

町長 景観条例により遺跡を守る、景観を保

合川拓真議員 (一戸中)

「いちのへ未来議会」は次世代を担う町内の中学生が、町の将来について自ら考え行動すること、まちづくりへの関心を高め、参画意識を醸成を図ることを目的としています。

一般質問は各班の代表者が演壇で質問を行い、それに対し町長・教育長より答弁がされました。答弁を受け、再質問が行われるなど、白熱した議論が交わされました。



当日は学校長、町議会議員、教育委員等が傍聴しました

全する取り組みを行っています。また、縄文文化に関連したまちづくりは重要です。町では少しずつですが、公共施設については、建て替えのタイミングを見計らいながら縄文の里に

ふさわしい外観に変えていきたいと考えています。また、縄文時代から受け継がれてきた竹細工などの知恵を未来へ伝えていくこともあわせて行っていきます。

まちづくりと縄文の関わりは

公共施設を縄文の里のイメージに

そこで、来年度は地元のことをいろいろ調べたり、その話を地元の方からお聞きしたりする中で、世界遺産のことも理解していただくという取り組みをしていきたいと考えています。

世界遺産登録再質問

関心を高めるためには

草の根的な活動も必要



鳥海真歩 議員
(一戸中)

質問 一戸南小では愛護少年団で活動していますが、このような取り組みをすることで町民の関心も高まると思います。考えを伺います。

世界遺産登録推進室長

町内外の小中学生に関心を持ってもらうことは非常に大事なことです。町内の場合、一戸南小だけでなく、一戸小でも金管バンドが御所野をテーマにした曲を演奏したり、他の小中学校でも年に何回も御所野に来て活動しています。平成26年

高橋 湜議員 第2項目

通学路危険箇所の把握は

43箇所中40箇所対策済み

質問 通学路について次のことを伺います。
①過去3年間の小中学生が関わっている交通事故や声かけ事案件数
②町が行ってきた対策
③通学路の危険箇所の把握数

町長 ①交通事故はありません。声かけ事案

体育館改修の見通しは

今年は耐震診断を行う予定



高橋 湜 議員
(奥中山中)

質問 昨年行った耐力調査の結果と、改修工事の見通しについて

教育長 昨年行った耐力調査の結果、建て替えするほど老朽化していない建物とみなされ、補助の対象外となりました。約6億円の費用を補助なしで賄う



のは、現実的に非常に困難な状況です。
今後は修繕を行いたいがら使用することとなりますが、今年は耐震診断を行い、強度不足と判定された場合には耐震補強工事を行いたいと思います。

高橋 湜議員 第3項目

大型店舗の受け入れは

地域の良さをいかし活性化を探る

このように大型店舗の誘導よりむしろ、既にある奥中山地域の良さをいかし活性化を探る方が、地域の方々にとても良いのではないかと考えます。

しかしながら、奥中山地区には、町の観光拠点である温泉やスキー場、いわて子どもの森などがあり、年間約35万人以上の観光客が訪れています。最近では大志田ダム菜魚湖のワカサギ釣りにも多くの人が訪れることから、これまでより買物をしてもらったり、地域の方と交流してもらうことで大きな経済波及効果が生まれると考えられます。

地域活性化関連再質問

他地域にはないイベントを

町の個性をいかし前向きに検討



中村友香 議員
(奥中山中)

それぞれの市町村が個性を打ち出して、市町村間で独自性を発揮している時代となつていきます。個性を発揮していかないと、なかなか町に愛着・誇りを持ったり、観光客に来てい

ただけない状況になると思います。そういつた中で、様々なところで高い評価をいただいている奥中山の野菜や牛乳などを前面にだした結婚式を企画するということは、非常に素晴らしい発想だと思いますので、実現に向けて前向きに検討していきたいと思っています。

関連発言



尾崎 睦 議員
(奥中山中)

私たち、奥中山中学校のために体育館の改築工事について真剣に考えてくださりありがとうございます。私たちが、この歴史ある校舎をこれからも大切に使用させていただきたいと考えています。

質問 町の河川氾濫、土砂災害予防のための対策と、災害時の避難所の備蓄・施設状況について伺います。



田中心花 議員
(一戸中)

町長 河川氾濫については、川に堆積した土砂を取り除く河道掘削や護岸工事を行っています。

避難所の備蓄・施設状況ですが、非常食については約1200食分と飲料水500ml換算で400本を役場庁舎に備蓄しています。また災害時の情報収集・伝達などのため、Wi-Fi環境の整備もしています。

田中心花議員 第2項目

空き家への対策は

空き家等対策計画を作成予定

質問 最近、町内で空き家を多く見かけるようになってきました。中には危険に感じる建物もあります。町の空き家

産業部長 ただいまのご提言、たいへん素晴らしい発想であると思います。現在は、それ



高間木紗羅 議員
(奥中山中)

質問 次の箇所は、通学路危険箇所として町で把握しているか伺います。

①中山の園から国道4号に抜ける見通しの悪い道路
②中山踏切から奥中山保育所にかけての街灯の少ない道路

総務部長 質問の2箇所については、現在把握していません。今後も各学校から寄せられた危険箇所については、関係機関で協議し、安心して通学できるように環境を整えていきます。

また、このいちのへ未来議会を通して学んだことを、これからの生活にいかしていきたいです。

災害時の避難所の状況は

Wi-Fi環境も整備

ます。また、土砂災害については危険度の高い箇所から砂防ダムの設置や急傾斜地崩壊対策事業を実施しています。

町長 当町の空き家の状況は、空き家と思われるものが673戸で、そのうち所有者に空き家だと確認できたものは228戸です。今年度は空き家の実態調査を実施しました。今後はそれを基に一

き家等対策計画」を策定する予定です。それにより空き家所有者への助言指導、住居・事務所などへの有効利用、空き家を狙った窃盗などの犯罪防止などの効果が期待されます。

災害対策関連再質問

非常食の輸送方法は

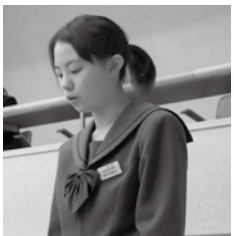
分散して保管することを進める



滝澤 優 議員
(一戸中)

質問 非常食を一括して保存する利点と、避難所までの物資の輸送方法を伺います。

総務部長 非常食の一括保存は管理が行いやすく行き届きやすいという利点があります。しかし、道路交通網が寸断された場合、



村中 咲心 議員
(一戸中)

大雪災害の防止策は

昼夜問わず除雪車を出勤

質問 現在の除雪車の運行状況と、大雪災害の防止策を伺います。

建設部長 町では12月1日から3月31日までの間、除雪対策本部を設置しています。一戸・小島谷地区に5台、小繋・奥中山地区に5台の除雪車で町道の除雪を行っています。まず最初に定期バス、スクールバス、給食車が通行する幹線道路を除雪します。次にそれ以外の幹線道路、その他の道路の順に除雪します。生活道路など幅員が狭くて除雪車が入れ

ない箇所には、除雪機などの貸し出しを行って地域の皆さんに除雪していただいています。

気象警報などで大雪が見込まれるときは、職員が役場に待機し、昼夜を問わず早期に除雪車を出勤させることにより、集落の孤立化を防いだり、緊急車両の通行の確保を図っています。

空き家問題関連再質問

空き家の安全な管理は

所有者が行うのが基本

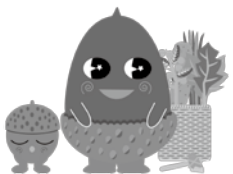


工藤 雄成 議員
(一戸中)

質問 空き家と思われる673戸の中で空き家と確認できなかった445戸はどのように管理するか伺います。

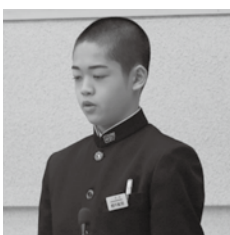
町長 空き家などの適切な管理は、その所有者が責任を持つて行う

ことが基本です。空き家と確認できなかった445戸の内訳は、所有者が管理している空き家でないものが147戸、未回答が298戸となっています。未回答の所有者については回答の働きかけを行い、危険な空き家については助言指導を行いながら安全を確保していきます。



これからも町民が安心して暮らしていけるような一戸町を目指した準備や活動をよろしくお願いします。

初めの町長の答弁に対する感想を述べさせていただきます。
災害予防対策に、町がしっかりと取り組んでいることがわかりました。



堀内 紘翔 議員
(一戸中)

関連発言

参加議員の感想

一戸町に貢献したい



合川 拓真 議員
(一戸中)

ができました。御所野遺跡世界遺産登録についてや、公共設備についての事など、町の方々と、これからつながる話し合いをすることができたと思いました。

一戸町に貢献したい



紺野 智瑚 議員
(一戸中)

加し今まで知らなかったことや一戸町の良さや改善点など様々な事を学ぶことができました。これからも一戸町について考え、貢献していきたいと思っています。

町づくりへの関心高まった



尾崎 睦 議員
(奥中山中)

いちのへ未来議会を通して、私が知らなかった一戸町の取り組みや対策を知ることができ、町づくりへの関心が高まりました。私も身も活気ある一戸町にするために、ボランティアに参加するなど、今、自分自身にできることをやっていきたいです。

を、学校で考え再質問をしました。議会の参加は初めてだったので、とても緊張しましたが、一戸町の未来について中学生の視点から見た発言ができたので、他でもいきたいと思います。

できることから頑張る



高間 木紗羅 議員
(奥中山中)



中村 友香 議員
(奥中山中)

今回の議会では貴重な体験をすることができ、良い思い出となりました。また、中学生として参

未来議会に参加してみ、奥中から出した質問の答えをしっかりと理解することができたので良かったです。議会の流れなども知ることができたので良い経験になりました。これから自分にできることから頑張りたいです。

町を考えることができた



片野 颯太 議員
(一戸中)

私は、この未来議会を通して改めて一戸の事について考えること



大谷 ちひろ 議員
(一戸中)

町に協力し貢献したい

生徒としてではなく1人の議員として参加した今日の議会は、発言に重みと責任を感じた。こうやって一戸町は成り立っているのかと分かる良い機会となった。もっと発言したいと思ったし再々質問もしたくなったので、何らかの形で協力し貢献したい。

町について考え貢献したい



鳥海 真歩 議員
(一戸中)

今回のいちのへ未来議会では貴重な体験をすることができ、良い思い出となりました。また、中学生として参



高橋 滉 議員
(奥中山中)

町の未来を考える機会に

今回の議会は一戸町の未来を考える良い機会になりました。自分の知らなかったこともたくさん出てきて、とても勉強になりました。私は一戸町を他の地域からたくさん人が来るような魅力のある町にしたいと思っています。

中学生の視点からの発言